

移転特集号

平成16年 3月1日発行

発行人 金原 洋治

下関市生野町 2-27-7



すくすく

4月1日から

新しいクリニックへ移転

かねはら小児科 金原 洋治

昨年からの建設中の建物が2月末に完成し、4月1日から新しいクリニックで診療を行います。3月29日・30日・31日は、**移転の準備のため休診とさせていただきます。**ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。

新しい建物の内容と機能

- 1・2階がかねはら小児科
- 3・4階が社会福祉法人「ねんじょ」が運営する「重症心身障害者地域生活支援センター」です。

1階は一般の小児科で、診察室を2つにし、点滴用のベッド2台確保し、更に隔離室と通常の受付の出入り口を別にしてあります。診



療時間は今までと同様ですが、月・水・金の10時から16時の間、石本美香代先生との2診体制となります。院長は、10時から約30分間、3〜4階の利用者の方々の回診に出向く予定です。

2階は、子どもの心やからだの発達支援室「ベースキャンブ」と「絵本とおもちゃと遊びの部屋」（名称未定）などです。

発達支援室「ベースキャンブ」

ベースキャンブは、小児科医と作業療法士と臨床心理士が連携して、主に、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）自閉症・脳性麻痺・不登校・心身症などの子ども達と家族の相談や支援の場です。ことばや運動の遅れが気になる方には、主に作業療法士が、種々の発達検査・運動訓練・感覚統合・ソーシャル・スキルトレーニングなどを行い発達のお手伝いをします。また、臨床心理士（非常勤）が、不登校や心身症など心の悩みの相談を行います。家庭・保育園・幼稚園・学校の先生方との連携の場になればと思っています。原則的には予約制で、まず小児科医がお話を聞き診察した後、発達支援室に予約を入れます。申し込みは受付まで。

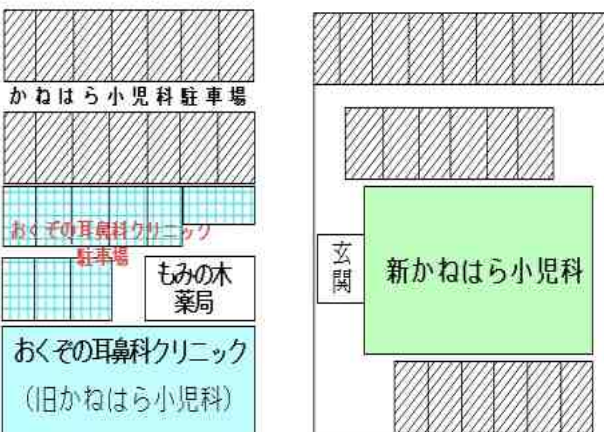
絵本とおもちゃと遊びの部屋（仮称）

ボランティアさんが運営しますが、本の読み聞かせ・おもちゃ・親子遊びなどお母さんと子ども達の遊びのスペースです。利用に関する具体的な内容は、4月になってから、クリニック内の掲示板やホームページに掲載する予定です。楽

しいイベントも企画致します。診療が休みの木曜日・土曜日の午後開設しますが、最初は月2〜4回くらいペースになると思います。**ボランティアさんも募集**していますので、ご希望の方は、受付までお申し込み下さい。

駐車場のご利用について

駐車場は、新しい建物の奥15〜16台分、道路に面した6台、現在使用している駐車場の奥14台分合わせて35〜36台が駐車場になります。薬局の並びの9台分は、4月5日から診療を開始する予定の「おくその耳鼻科クリニック」専用ですのでご注意ください。3・4階の「重症心身障害者地域支援センター」利用者の送迎のため、9時30分〜10時と2時30分〜3時30分の間は、マイクローバスやワゴン車などが玄関前に止まります。玄関周辺への駐車は遠慮下さい。



※ 〇 かねはら小児科駐車場
□ おくその耳鼻科クリニック駐車場

よろしく願います

こんにちは。

石本 美香代



4月から週3回
外来診療をさせ
て頂くことにな
りました石本美
香代です。よつやく1年前に双子のマ
マの小児科医になれたばかり・・・と言
うことで、良く聞かれる事があるので
ここで書かせて頂く事にしました。

『小児科医だから育児も上手でしょ
う?』

お母さんに抱かれた病気のの子ば
かりを診てきた私。丸裸の元気な赤ち
やんと24時間向き合っうなんて初体験。
飲ませ方が悪かったのか抱っこ不足
か・・・ご飯は食べない、かんしゃく
持ちで悪戯好きな子ども達に育ちつ
つあります。

『我が子の病気や怪我の時も安心して
しよう?』

子供が熱を出せば、「大丈夫
という太鼓判が欲しくて小児科に駆け
込み。つい先日は子供の一人が前歯を
ぶつけて、見るとグラグラ動いてい
る!慌てふためき歯科受診。

先輩ママ、同士のママ、そして御家族
の皆様こんな私ですが、
どうぞ宜しく願います。



皆様、はじめまして

作業療法士 日野 富美

4月から、2階の作業療法室で勤務す
ることになりました。2階部分は『発達
支援室・ベースキャンプ』といって、発
達に障害のある、又は、気になる子ども
達や家族を支援するところです。子ども
達の豊かな成長・発達を楽しみにして頑
張って行きたいと思えます。宜しく願
います。

重症心身障害者

地域生活支援センター(3・4階)

社会福祉法人じねんじょ 石塚 忠志

『じねんじょ』って何?と思われる方
もおられると思いますが、重い障害を持
つ人達の福祉施設です。彼らが、住み慣
れた地域の中で暮らせるように、そして
山芋の自然薯(じねんじょ)のように、
大地にしっ



かり根を張
って生きて
欲しいと言
う願いを込
めて「じねん
じょ」と言う名が付けられました。

センターは『知的障害者通所更生施
設』に『重症心身障害児(者)通園事業
施設A型』と『クリニック』を併設全

国で初めてという形です。福祉と医療と
の連携を密にし、『人は人の中に生きて輝
く』を合言葉に、人との関わりや交流、
地域の中で生きて行くことにこだわっ
て活動して行きたいと思っています。そ
して、個人が個人として認められ、その
人らしい自立した生活を送ることが出
来、自分を輝かせる楽しい場所の『じね
んじょ』になるように努めて行きたいと
思っています。

また、地域交流として様々な行事、ミ
ニコンサートなどを企画していきたい
と思っています。その時は多数のご参加
をお待ちしています。

今後とも、「理解とご支援のほど、宜
しく願います。

はじめまして

おくぞの耳鼻科クリニック

院長 奥園 美子

桜の咲く頃、金原先生のお隣に移って
参ります。現在は山の田の『山の田耳鼻
科クリニック』で診療をしています。金
原先生にかかりつけの患者さんで、山の
田に来て頂いている方には、『はじめま
して』ではなくて、『これからどうぞよ
ろしく』ですね。クリニックの名前は変
わりませんが、『耳鼻科』部分は、今まで
通り『みみはな』と呼んで親しんで下さ
いね。

お知らせ

4月より、木谷秀勝助教授(山口大学教育学部)による
カウンセリングが、毎月第2土曜日に始まります。鮎川先
生によるカウンセリングも今まで通りに行います。詳しい
ご案内、また受診をご希望の方は、受付窓口までどうぞ。

編集後記

4月、桜が咲き、緑が芽吹き、子ども達は入園・進級を
迎え、新しい生活の素敵な予感に満ちた季節。かねはら小
児科も新しいクリニックでの診療を開始し、もっと親しみ
やすく、利用しやすい、そして何より子ども達が笑顔にな
れる病院でありたいと、私たちは努めていきます。

半熟ラ・フランス

私は、山口大学出身で、金原先生の少
し後輩になります。平成12年までは、国
立病院の耳鼻咽喉科に勤務し、フルタイ
ムで働きながら子育てをしてきました。
私の診療のモットーは、『モンディ
ーズ(よくある病気)をきちんと治す
子どもの耳と聴こえを守る 丁寧な
説明と納得出来る治療の3つです。また、
働く母親として生きてきた経験から、多
少なりとも子育て中のお母様方をサポ
ート出来るのではないかと思います。

気が利かなくて、言葉足らずな面もあ
るかと思いますが、どうぞ宜しく願ひ
ます。